

Educational Research Centers

教育研究施設

■ eラーニング推進センター (CED) Center for e-Learning Development

現代 GP「ITによるIT人材フレームワークの構築」で学習者適応型eラーニングシステムPOLITEを、教育GP「ICTによる自律的FD推進モデルの構築」でFD支援システムCANVASを他大学に先駆けて開発した。また、iPadを有効利用した主体的な学びに導く実行プランを実践するなど、ICTを活用した教育イノベーションを推進している。学生もシステム開発などを体験することで成長している。



■ 先端医療・健康情報教育センター (CAMI) Center of Advanced Medical Information

医療情報、予防医学、医療システム開発を柱とした研究を推進する施設で、電子カルテ、医療機器、統計解析などのICT機器を備えている。ヘルスリテラシーを教育理念に掲げ、地域貢献とともに診療情報管理士、医療情報技師や臨床工学技士(ME; Medical EngineerまたはCE; Clinical Engineer)など、医療・保健・福祉の分野で活躍できる専門人材を育成する教育施設である。



■ メディアクリエイティブセンター (MCC) Media Creative Center

メディアクリエイティブセンター(MCC)は、情報メディア分野におけるプロジェクト型学習(Project Based Learning)を実施するために平成20年に設置された。

VR(仮想現実)、3Dプリンター、モーションキャプチャーなどの専門機器や、開発用PCが学生用に準備されている。様々な技術を持った学生がチームを組み、役割分担をして、学内の研究・開発や企業・市・NPOとのデジタル・コンテンツ、WEB、映像などの創作・制作プロジェクトに携わっている。



■ 健康情報科学研究センター (HISC) Health Information Science Center

健康や病気に関わる生体情報を遺伝子から細胞レベルまで解析できる分析機器(細胞培養やDNAシーケンサーなど)を備え、また食の機能性を研究する「食の臨床試験システム」を実施する地域密着型の研究施設である。地域ボランティアを対象にした「食と健康」に関する網羅的な健康情報を集積し、地域社会に還元する役割も担っている。



■ 宇宙情報センター (SIC) Space Information Center

宇宙や地球環境の観測・監視・測位は、宇宙地球環境の実態把握だけでなく大規模災害への迅速な対応など、さまざまな場面で利用されている。宇宙や地球の環境情報の高度利用、高品質高信頼性システムの開発、衛星測位など宇宙に関する事業で必要とされる研究と技術開発を行っている。

■ 地域連携・産学連携センター (CIU) Center for Community Co-Operation and Industry University Collaboration

自治体など地域との連携事業や教育・研究活動の推進、生涯学習に関する事業の企画・立案及び実施、さらには企業などの外部機関との共同研究や受託研究の推進等により、教育・研究活動の成果を地域や連携先へ還元することは大学の使命の一つであり、それらの活動をより一層活性化させることを目的としている。

■ アントレプレナーシップセンター (HIUEC) Hokkaido Information University Entrepreneurship Center

国内外のあらゆる分野において、情報技術を用いた新たな価値創造や現代的な社会問題の解決を主眼においたビジネスの創造及びそのようなビジネスを実行しうる優秀な学生の育成(アントレプレナー養成)の拠点である。学生の起業支援、起業可能なプロジェクトの支援を行うことを主目的としている。特に、Internet of Thing (IoT) やモバイル機器を用いたヘルスケア、3Dプリンティングなど、近年増えつつある比較的軽量・小型のデバイスを用いた分野をコアとするものの、その他のさまざまな分野に対しても対象としている。

臨床工学実習室 Clinical Engineering Laboratory

医療情報学部臨床工学専攻専用の実習室として2018年に設置された臨床工学実習室は、本物の医療機器や最新の医学シミュレーターを導入し、手術室や人口透析室など臨床現場を本格的に再現しており、ハイレベルな人材養成に対応した全国トップクラスの設備を有する実習室となっている。

